

2024年6月28日

第一生命ホールディングス株式会社

株主 各位

当社第14期定時株主総会事前質問に対する回答

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第14期定時株主総会の開催に先立ち、当社ウェブサイトにていただきましたご質問につきまして、下記のとおり回答申し上げます。

記

| | 質問概要 | 回答内容 |
|---|---------------|---|
| 1 | 個人株主増加に向けた取組み | <p>より多くの個人株主に当社株式への投資をより魅力に感じていただくため、下記のとおり様々な取組みを行っております。</p> <p>①株主の皆さまへの還元重点を置いた資本政策を継続してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none">・2023年度の期末配当より、配当性向を30%から40%への引き上げを実施しております。・2024年度からは、新たに中間配当を実施し、配当の頻度を年1回から2回に増やす予定です。 <p>②株主還元とは別に、株主の皆さまからご要望の多かった株主優待制度を新設いたしました。</p> <p>③情報提供の質・量の充実に向け、「IRメール配信サービス」や「投資関連情報誌への広告出稿」、「オンライン会社説明会」等の取組みを行っております。</p> <ul style="list-style-type: none">・IRメール配信サービスでは、当社から個人投資家の皆さまへのタイムリーな情報提供を目的とし、月に1回程度を目安に情報提供を行っておりますので、是非当社ウェブサイトよりご登録ください。・経営トップ層によるオンライン会社説明会等を今後実施する予定でありますので、是非ご視聴ください。 <p>引き続き、適時適切な情報提供に努めるとともに、株主の皆さまに向けた様々な取組みを行うことで、当社グループのファン拡大に繋げてまいります。</p> <p>※IRメール配信サービスは下記リンク先よりご登録ください。 https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/individual/mail.html</p> |

| | | |
|---|-------------|---|
| 2 | 今後の株主優待の拡充 | <p>当社グループ独自のヘルスケアアプリ「QOLism(キュオリズム)」のご利用を通じ、当社グループの事業に対するご理解をより一層深めていただくとともに、株主の皆さまの生活習慣の改善や、QOL 向上のサポートを目的として、株主優待制度を新設いたしました。より魅力的な株主優待をご提供できるよう、株主の皆さまのご意見も参考に、今後の更なる拡充を検討してまいります。</p> <p>また、株主優待生活でお馴染みの個人投資家、桐谷広人氏による、株主の皆さまに限定した講演会の開催を予定しております。講演会等のお申込みや抽選方法につきましては、今後「QOLism(キュオリズム)」のお知らせ機能にてご案内いたしますので、6月 29 日(土)より是非ご登録をお願いいたします。</p> <p>※「QOLism(キュオリズム)」アプリの登録期限は8月 31 日(土)となりますので、お早めにご登録ください。</p> <p>※登録方法につきましては下記リンク先をご参考ください。</p> <p>https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/share/benefit.html</p> |
| 3 | 今後の国内保障事業戦略 | <p>少子高齢化に伴う社会構造の変化やデジタルの発展による生活様式の変化等によって、人々のライフスタイルや価値観が多様化する中、画一的な商品・サービスの提供ではなく、お客さま一人ひとりに最適な価値を最適なチャネルでお届けすることが重要だと考えております。</p> <p>国内保障事業では、保険の本質的な役割を發揮し、人々の生活基盤の安定化に貢献すべく、主に医療保障・所得保障・介護保障や健康増進の分野で、様々な世代のお客さまの価値観・ニーズを捉え、機動的な商品ラインアップの拡充に取り組むとともに、対面チャネルによるリアルの強みとデジタルの利点を融合することで、お客さまにとって最適なチャネルでお届けしてまいります。</p> <p>また、人生 100 年時代において資産形成・承継ニーズが高まる中、お客さま一人ひとりが抱えるリスクや不安を認識し、ライフプランの課題解決につながるよう、保障と資産形成・承継の両面で高品質なコンサルティングに取り組んでまいります。</p> |
| 4 | 今後の団体年金事業戦略 | <p>第一生命保険の団体年金事業では、確定給付企業年金(DB)や確定拠出年金(DC)をはじめとした様々な企業年金の制度管理・運用商品提供を実施しております。企業年金を含む退職給付制度全般のコンサルティングも実施し、老後資産形成に関する幅広いサービスを提供しております。</p> <p>本中期経営計画期間においては、フィービジネスとスプレッドビジネスの両輪による利益最大化に取り組みます。フィービジネス(DB 特別勘定・DC・投信)については、安定的な収益源として着実な残高拡大を目指してまいります。低金利下で受託を抑制していたスプレッドビジネス(利率保証型)につい</p> |

| | | |
|---|------------------------------|---|
| | | <p>でも、金利環境を踏まえつつ安定的な競争力のある商品供給を実現し、お客さまの元本保証ニーズにお応えするべく拡販を目指してまいります。</p> <p>フィービジネス(2023年度末受託残高2.7兆円)とスプレッドビジネス(同4.2兆円)を主軸とした複数のビジネス展開を通じて、お客さま体験価値及びwell-beingの向上に寄与し、事業価値の向上に努めてまいります。</p> |
| 5 | 障がい者の活躍促進に向けた取り組み | <p>当社グループでは、ノーマライゼーションの実現に向け、各社で積極的に障がい者を雇用しております。</p> <p>第一生命保険では本社及び全国の支社において身体障がい者を、また第一生命保険の特例子会社である第一生命チャレンジドでは知的障がい者や発達障がい者を中心に雇用しており、グループ全体で約1,000名の障がいのある社員が活躍しております。</p> <p>具体的には、パソコンを使用したデータ入力や書類の作成・印刷・発送・整理、グループ社員の福利厚生のための喫茶業務、清掃業務等、幅広い業務の中から、社員一人ひとりの個性に合わせて活躍できる業務に従事しております。</p> <p>また、障がい者の雇用及び障がいへの理解促進に向けては、全社員を対象とした啓発研修を実施しております。あわせて、障がい者相談窓口を設け、障がいのある社員からの個別相談に対応する等、安心して働ける環境づくりを進めております。</p> |
| 6 | フィゲン・ウルゲン CDAO の招聘理由及び期待すること | <p>2030年度に目指す姿の実現にはIT・デジタル戦略の強化は欠かせません。グローバルでテクノロジーの活用が進む多くの企業では、Chief Data Officer (CDO)やChief AI Officer (CAIO)のポジションを置き、データ・AIの利活用を進めております。当社においても、グループの成長を加速させていくためには、欠かせないポジションであると判断いたしました。</p> <p>そのため、グループ全体におけるデータ・AI利活用やその促進を支えるためのデータ・AIガバナンス及びグループにおけるAI活用推進を担当するChief Data and AI Officer (CDAO)として、当該領域におけるグローバル企業での豊富な経験と高度な専門性を有するウルゲン氏を招聘いたしました。</p> <p>ウルゲン CDAO には、データサイエンス・AI・データガバナンス等多岐にわたるデータ領域での課題解決に関わるプロジェクト経験やデータ・AI領域全般の高度な技術的知見を活かしたテクノロジーのビジネスへの活用を通じて、既存概念からの変革や新たな事業機会の創出を当社グループにもたらすことを期待しております。</p> |
| 7 | 社会貢献活動の事例 | <p>当社グループでは、事業と社会価値創造の共創により実現を目指すものの一つとして「現世代・将来世代のwell-being」の向上を掲げており、小・中学校への支援は、まさに将来世代のwell-beingにつながるものと認識しております。そして、グループ各社は、グループ社会貢献取組方針に基づき、様々な社会貢献活動を各国・各地域で実施しております。</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | | <p>2023 年度の主な取組みとして、第一生命保険、第一フロンティア生命保険では、消費者教育・金融保険教育のためのオリジナル教材を作成し、社員による出張授業を実施いたしました。また、第一生命保険の特例子会社である第一生命チャレンジドでは、障がい者雇用の取組みを特別支援学級等で紹介しているほか、多様性について学ぶインクルーシブ授業を企画し、出張授業を実施しております。</p> <p>なお、グループ各社の地域・社会貢献に関する取組みについては、当社ウェブサイトでもご紹介しております。</p> <p>今後も、将来世代教育支援を含む地域・社会貢献活動を継続してまいります。</p> |
|--|--|--|

(注)2024 年6月 27 日時点の情報をもとにしております。

以 上